

抜 刷

「甘楽多野用水誌」

平成16年3月31日

・ 初めに 佐藤 恒雄

・ 目 次

・ 第5章～第7章 河合 明宣

第5章 昭和初期の事業着工から竣功まで

第6章 鎚川事業と既得水利権の堅持

第7章 用水の活用と今後の展望

は じ め に

甘楽多野用水土地改良区はその前身である甘楽用水耕地整理組合が昭和10年に発足してから70周年を迎えます。

この地域は低山に囲まれ水源が乏しく、古くより眼下を流れる鐺川からの取水が挑まれてきました。昭和10年に富岡町助役笠原利平氏やこの地域の熱意ある人々が、水利権取得に奔走し上下流町村より猛反対を受けましたが苦難の末に関係者の調整を終えました。同年に鐺川上流の青倉・栗山地点から取水し、約24km下流の吉井町までの用水路建設事業が着手になりました。工事途中に第二次世界大戦などを挟み、資金や労力・物資などが逼迫し難工事でしたが昭和27年によりやく竣工し、厳粛な竣工記念式が挙行されました。当時の写真からもわかるように念願の用水路竣工を祝す姿からその深い喜びが伝わってきます。水不足に悩まされる農民にとって用水の確保は誠に感慨深いもので、先人たちの大変な苦勞に感謝する心は今日でも変わりありません。

その後間もなく、国営鐺川沿岸地区の基礎調査などが開始され昭和30年代に本県で国営事業第1号の鐺川地区農業水利事業が甘楽多野用水地区も含まれて計画されました。その内容は畑地かんがいによる生産体制の充実を図るためのものであり、畑地かんがいや水利再編などは水田主体の当土地改良区にとって新しく難しい課題でした。また一方では下仁田頭首工の新設や導水路と丹生貯水池の改修など切実な課題もありました。

その対応として当甘楽多野用水側は、苦難の末によりやく取得した水利権や施設の管理などは引き続き農業者自身で主体性を生かして維持管理することに重きを置きました。その交渉は国側などと長期にわたる難しいものでしたが、組合員一同の結束のもと、当土地改良区側の方針に沿った既得権などを堅持しました。

また甘楽多野地域では用水の農業利用と併せて生活や地域に使われる用水が身近に確保されている状況にあります。それらは当時ころごしを高く持った先人たちが農業を含む産業や住民の福祉のためとして全知を傾けて築いてくれた貴重な財産であり、その高い見識は地域の誇れる精神的遺産になっています。

近年農業用水の役目が社会の進展と共に広く認識されてきました。水田・畑地農業、施設農業などの利用に加えて、自然環境および住民など地域全体の水循環対策を考慮した水利用や管理運営を行なう時代になりました。

当土地改良区ではこれらについて地元の人々、関係市町村、県土改連、県、国など関係部所のご理解とご支援を頂き、多様な用水管理に万全を期して対応していくところです。

当土地改良区の前身である用水組合から発足して70周年になりますが、その節目に「甘楽多野用水誌」を出版しました。内容としては地域づくりの骨格になった用水事業の歩みとその維持管理の状況や今後の課題を、また用水と自然環境や地域などのかかわり、および変化した農業の現状などいろいろな角度からまとめました。多様な用水の実態や課題について我々組合員や地域の皆様に更なる理解を頂く資料になればと考えております。

70周年記念を迎えるにあたり、日頃ご支援とご協力をいただいております皆様に改めて敬意を表し、出版記念のあいさつとします。

平成16年3月31日

甘楽多野用水土地改良区理事長 佐藤 恒雄

目 次

目 録

はじめに

佐藤恒雄

執筆等一覧表

I 地域概況

第1章 地形・地質について 高橋武夫……2

第1節 鑄川水系と地形・地質のあらまし

第2節 河岸段丘と土地利用

第3節 鑄川の流路の変遷

第4節 地質が決めた谷津田の開田

地域の話 川と子供たちのかかわり

野村 哲……13

第2章 鑄川に沿った耕地の土壌

塚本雅俊……15

第1節 鑄川流域に分布する耕地の土壌

第2節 桑園や普通畑として利用されている黒ボク土

第3節 特色ある鑄川流域の農業を支える褐色森林土と褐色低地土

第4節 人によって作られた水田の土壌

第3章 甘楽多野地区の植物について

里見哲夫……25

第1節 水源と植物

第2節 田、畑、果樹園など土地利用と植物

第3節 植林や土地開発に伴う植物への影響

第4節 甘楽多野地域の植生

地域の話 森と川

野村 哲……39

II 用水の起源から現代まで

第1章 古き頃の甘楽多野 里見哲夫……42

第1節 生活の基盤としての住居

第2節 古文書にみられる鑄川

第3節 古代の水田跡

第2章 江戸時代と明治時代 本多優二……44

第1節 江戸時代の用水と水田

第2節 江戸時代の頃の堰

浅岡堰と現在の山下堰 一番堰

二番堰 三番堰・君川堰 大口用水

第3節 明治時代の官営富岡製糸場

第3章 大正時代の鑄川用水事業構想

本多優二……56

第1節 鑄川普通水利組合の設立申請

第2節 当時の社会状況

第3節 事業計画

第4節 事業資金

第5節 「眉橋街頭に翻る組合旗」

第6節 前途二横断障害

第7節 ついに実現できず

地域の話 追追 本多優二……72

第4章 『甘楽用水起源』 笠原利平……73

第1節 地勢

第2節 大正鑄川用水計画

第3節 甘楽用水運動経過

第4節 五大用水、群馬會館に促進大會

第5節 甘楽用水認可申請

第6節 水利権分譲契約成立

第7節 多野郡幹部と合同、本省に陳情

第8節 用水認可

参考資料

笠原利平翁顕彰碑

「甘楽用水起源」年月日表

津金澤正洋……100

第5章 昭和初期の事業着工から竣工まで

河合明宣……102

第1節 時代背景

第2節 甘楽用水の礎を築いた笠原利平氏

第3節 事業発足と水利権取得

第4節 昭和10年甘楽用水耕地整理組合発足

第5節 工事着工の状況

第6節 工事進捗と日中戦争、太平洋戦争

阿蘇岡堰復旧耕地事業平面図

第7節 目的達成と組合組織の強化

第8節 様々な事業申請による工事推進

第9節 着工から16年目、竣工の最終局面

第10節	土地改良区への組織改正
添付資料	甘楽用水事業期成同盟会 何々町村甘楽用水耕地整理組 合費納付組合 開田許可願 富岡町南支線工事の概要 富岡町南支線工事見取図 富岡町北支線見取図 富岡町北支線工事の概要 昭和27年3月甘楽多野用水竣 功碑々文・式辞

第6章 鑄川事業と既得水利権の堅持 河合明宣……156

第1節	国営鑄川農業水利事業計画と 甘楽多野用水の水利権問題
第2節	甘楽多野用水の第1回脱退届
第3節	甘楽多野用水の国営鑄川用水事業参 加と改修計画
第4節	下仁田頭首工新設と水利権譲渡問題 —第2回脱退届を巡って—
表1	鑄川農業水利事業経過一覧
表2	鑄川事業計画変更の内容
添付資料1	鑄川沿岸土地改良事業の公式 陳情
添付資料2	群馬県知事「10ヶ条」確認書
添付資料3	甘楽多野用水土地改良区と鑄 川土地改良区との関連について
添付資料4	35年4月2日 羽切理事長と の申し合せ
添付資料5	鑄川土地改良事業について (鑄川土地改良リーフレット)
添付資料6	鑄川用水事業との関連について
添付資料7	水利権許可書及び水利使用 規則
添付資料8	鑄川農業水利事業下仁田頭首 工の施行に関する覚書

第7章 用水の活用と今後の展望 河合明宣……214

第1節	用水の活用
第2節	甘楽多野用水施設維持の努力と関係 する主な事業
第3節	地域農業と地域用水の未来

地域の話	少年たちを育てた母なる湖・丹生湖 岩井榮壽……247
------	-------------------------------

第8章	地域にかかわる灌漑施設
	西野牧開田記念碑 小坂用水 上馬山開田組合 里見哲夫……249 神堰（かんぜき）津金澤正洋……256 雄川用水 高橋多丸……259 長根用水 堀越幸男……261 鑄川用水 津金澤正洋……262

Ⅲ 維持管理と多様な用水

第1章 用水の維持管理 中村好男……266

第1節	用水組織と組合の運営
第2節	用水施設と水利用
第3節	維持管理
第4節	土地改良区の将来と維持管理体制

地域の話	先人に感謝と近頃の用水 金田 丕……283
------	--------------------------

第2章 地域の水循環の核として期待される 農業水利と土地改良区 (三野先生へのインタビュー) 三野 徹……285

- 1 「灌漑排水学」から「水環境工学」へ
- 2 便利さと引き換えに失った地域と水との
多様な関係
- 3 農業用水との新しい関係づくりへ
- 4 流域を介してつながる農村と都市
- 5 新しい視点から議論を起こしていくとき

第3章 多様な農業用水 小澤安宏……293

第1節	農業と水
第2節	農業用水の多面的機能（その1）
第3節	農業用水の多面的機能（その2）

第4章 鑄川水系農業用ため池水利ネット ワークの構築に向けて 細野安高……298

第1節	農業用ため池
第2節	かんがい水路の整備と農業用ため池
第3節	ため池水利ネットワークとは

第4節 ため池水利のネットワーク構築に向けて（鎗川水系での多面的利用可能量の創出）

第5節 土地改良区の新たな役割

第5章 用水をとりまく課題

津金澤正洋……308

IV 地域や自然とのかかわり

第1章 鎗川や農業用水の水質

青井 透……314

第1節 鎗川の水質調査

第2節 各支流や農業用水の水質

第3節 鎗川の窒素濃度の由来として雨水調査

第4節 河川水質と河川植生との関係

第5節 鎗川水系の水質の特徴と今後の対策

地域の調査

富岡地内の水田の浄化機能調査について

中村好男・左村 公……325

第2章 甘楽多野地区の地下水

樋口邦弘……330

第1節 地域社会における「健全な水循環」

第2節 私たちの利用している地下水

第3節 鎗川沿いの地下水

地域の資料

甘楽多野地域の上水

甘楽多野地域での湧水や井戸の地下水

第3章 水生昆虫

宮原義夫……349

第1節 水生昆虫と水の汚れ

第2節 鎗川水系の水生昆虫

第3節 水管理の重要性

地域の資料

水生昆虫のグループ

現存量

表 環境条件、鎗川水系の水生動物 他

第4章 魚類

林不二雄……375

第1節 生息魚種の移り変わりと環境の変化

第2節 特記すべき事項

第3節 これからの環境および生態系の保全と再生

表 西毛地区河川別魚類確認状況 他

第5章 野鳥のすみか 加藤辰五郎……386

第1節 野鳥の楽園 かぶらの谷

第2節 野鳥生存に必要な環境

第3節 自然界から絶滅のおそれのある野鳥

第4節 野生動物の絶滅への要因

第5節 観察できにくくなったヤマセミ

第6節 野鳥のすみかの移動（渡り）

地域の資料

環境の異なった地域での野鳥の種類

かぶら野で見られた野鳥総合一覧表

第6章 教育の変化と甘楽多野用水

里見立夫……400

第1節 終戦直後の教育

第2節 手作りの教材

第3節 「総合的な学習」と身近な環境課題など

地域の話

甘楽用水と丹生湖の学習を通して

高橋純子……405

第7章 水田の生物生息と保全との調和

守山 弘……407

第1節 水田を守るとはどういうことか

第2節 生態系保全と文化景観の保全との調和による地域おこし

V 甘楽多野地域の農業状況

第1章 農業の移り変わりと現在の姿

倉本器征……422

第1節 第2次世界大戦までの農業の歩み

第2節 第2次世界大戦後の農業の歩み

第3節 現在の農業の姿

表 富岡市、甘楽町、吉井町の経営類型別
農業経営の概要 他

第2章 地域の農業や用水を語る（座談会）

松井俊弘・地域農業者

・学識経験者……436

表 昭和30年代以降富岡市の主要な経営類型の変遷

表 農業の過去・現在・未来

Ⅵ 歴史ひもとき

1 「用水起源」前夜 津金澤正洋……478

- 第1節 農山村不況の打開策とその対応
- 第2節 新聞記事等から見た社会の実情
- 第3節 雨不足とその対応策
- 第4節 農業用水の整備事業
- 第5節 鑛川用水計画
- 第6節 三名川貯水池の竣工
- 第7節 農村育成についての農相の決意
- 第8節 五大用水実現への促進大会と
その反応
- 第9節 当時の世界情勢
- 第10節 五大用水計画の進捗と
近づく甘楽用水の黎明

2 自普請と水論 本多優二……543

第1節 江戸の状況

第2節 自普請

第3節 水論

Ⅶ 資料

農事図……579

甘楽多野用水の事業図面(1)(2)……591

甘楽多野用水土地改良区役職員名簿……607

写真資料等提供者……623

編集員関係一覧表……624

あとがき……625

表紙題字 里見哲夫

甘楽多野用水誌

発 行 平成16年3月31日

発 行 者 甘楽多野用水土地改良区

〒370-2343 富岡市七日市729

TEL (0274) 62-0226

0274-62-0226

企画編集 株式会社富永調査事務所

〒370-0864 高崎市石原町3207-1

TEL (027) 323-9933

印 刷 上毎印刷工業株式会社

〒379-2154 前橋市天川大島町305-1

TEL (027) 224-6245